

一般質問

・灯台周辺とB&G周辺、及び
灯台下海岸道路の安全対策について



川口純男

問

灯台広場も各設備が整備され立派になりました。休日には多くの観光客が訪れ賑わっています。そこで私は、灯台下の街路灯と海岸（原発）道路の周辺について、3点質問致します。

1点目。遊歩道の街路灯は、B&G体育館から海岸へ降りる階段と、灯台から海岸へ降りる階段に設置してありますが、点灯していない箇所があります。灯台下の街路灯に限れば、街路灯全て（40個）が点いていません。夜間の安全と災害時に備え、点灯させておくべきではないでしょうか。

2点目。灯台下、海岸（原発）道路の陸側、ワイヤーネット製の落石防止壁（約80m）が塩害などで大きく損傷しています。この先、集中豪雨や地震時に於ける落石防止のために、修理する必要があると思います。

3点目。同じく海岸道路の堤防に、船揚げ用のコンクリート製の斜路が接続しています。

この斜路の西側が海岸浸食のた

一般質問

・交通弱者に対する支援策について



丸尾 忠

問

「第2次御前崎市総合計画」の中で、公共交通網の改善の必要性を挙げた地区がほとんどである。自分で運転ができなくなったとき、障がいの有無に関係なく、安全に移動ができる、市民に寄り添った移動手段が必要だと考える。福祉タクシー券の交付枚数が減った理由については

福祉タクシー券は、社会参加の促進、福祉の増進を目的として交付しています。今年から近年の利用実績などを踏まえ、1人当たりの年間交付枚数を20枚としました。障害手帳所持者のほかに、75歳以上で運転免許証を所持していない高齢者に対して、毎年度福祉タクシー券を交付しているのは近隣市町では御前崎市だけであり手厚い制度となっております。

地域協働バスの運転手の確保が困難なことや自動運転バス導入についての考えは

高齢者の地区センター活動の促進などを目的に、地区が運行主体となり、行政が車両の

問

導入や運行経費を支出するとう、市民協働の最たるものであると考えておりますので、新たな運転手の育成や運行形態の見直しなどを含め、各地区と協議を進めてまいります。

自動運転バスにつきましては実用化までには多くの課題があるので引き続き情報収集や本市への導入の可能性を検討します。

問

自主運行バス（路線バス）の利用が少なくなっていると思いますが高校統合問題も視野に入れての今後の考えは

答

本市の自主運行バスは、市内線、相良浜岡線、相良御前崎線の3路線となっております。利用状況は近年横ばいとなっておりますが、運賃や運行ダイヤなど、利用者の減少には様々な問題が考えられます。

鉄道駅のない本市にとって、バス路線は市の大動脈でありますので、引き続き利便性の高い運行体系への見直しを図ります。

答

高齢者の地区センター活動の促進などを目的に、地区が運行主体となり、行政が車両の

問

地域協働バスの運転手の確保が困難なことや自動運転バス導入についての考えは

高齢者の地区センター活動の促進などを目的に、地区が運行主体となり、行政が車両の